

2月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 放課後子ども教室 「お菓子作り」
4	5 休館日	6	7	8	9	10 人権を考える日
11 休館日 建国記念の日	12 休館日	13	14	15 公民館協力委員会 19:30~	16	17
18	19 休館日	20	21 ガラスびんスプレー展	22	23 休館日 天皇誕生日	24
25	26 休館日	27	28 古紙 国ちゃんカフェ 10:00	29		

心のオアシスコーナー レモンを手に入れたらレモネードをつくれ

おろか者は、人生の贈り物がレモン（不快なもの）だと知ると、あきらめ顔で「私は負けた。これが運命だ。もはやチャンスはない」などと言いつく。そして世間に文句をつけ、自己憐憫にどっぷりひたってしまう。けれども、賢い人はレモンを手にして自問する。「この不運からどんな教訓を学ぶべきだろうか？ どうしたら周囲の状況がよくなるであろう？ どうすればこのレモンをレモネードに変えられるだろうか？」

◎運命がレモンをくれたら、それでレモネードをつくる努力をしよう。

デール・カーネギー「道は開ける」より

※英語で「レモン」というと、「酸っぱい」「欠陥商品」「不快なもの」という意味もあります。

西条市「二十歳の集い」 おめでとうございます！



令和6年1月7日丹原文化会館で「二十歳の集い」が開催されました。旧友との再会を喜ぶ姿も見られました。二十歳のみなさん、おめでとうございます。



国安俳句会 学級生作品 (1月句会)

ひさびさ だんらん
久々の団欒なりや初鏡
ふじゆそうもちゅう いえ ひだま
福寿草喪中の家の日溜りに
あかね いしづれいほうはつけしき
茜さす石鎚霊峰初景色
ゆたんぼ いっくな
湯婆や一句成しつよき眠り
きのう ちが かせわとかれはと
昨日とは違ふ風音枯葉飛ぶ
がしかわ うつこ
賀詞交すスマホに写る子の笑顔

越智 綾子
越智 椿
岸田 千寿子
近藤 憲史
菅生 正恵
吉田 百合子



2024年（令和6年）2月号

西条市のホームページや右のQRコードより
公民館だよりのカラー版をご覧ください



No.376

公民館
だよりの

くにやす 2月



国安地区 12月末現在 前月対比

男 1,710人 (-1)
女 1,933人 (+6)
計 3,643人 (+5)
世帯数 1,825戸 (+14)

〒799-1323 西条市桑村127番地1
電話・FAX 0898-66-5028
E-mail: kuniyasu-k@saijo-city.jp

しめ縄づくり 12月19日(火)



新しい年に向けて
作りました

国安小学校6年生が国安地区老人クラブの方々から、しめ縄の作り方を教えていただきました。はじめは思うように藁が編めず苦戦していましたが、どんどん上手になり素敵なしめ縄ができました。今年も良い年になりますように。



無病息災を願う とうとうさん

今年も立派にできました。正月のしめ縄などをはやして1年の無病息災を祈ります。



高田



桑村



新市

学校開放登録団体の申請

国安小学校、東予西中学校の体育館、運動場を使用するには、事前に団体の登録申請が必要です。

令和6年度に使用を希望する団体は、登録申請をしてください。継続して使用する場合も登録申請が必要です。

○登録対象

市内に在住、在勤する10人以上のスポーツ団体

○登録方法

申請書は公民館にあります。必要事項を記入して、公民館に提出してください。

○提出期限

2月24日(土)締め切り



公民館利用サークル登録の申請

公民館を定期的に使用するには、サークルの登録が必要です。継続又は新しく登録を希望されるサークルは、登録申請をしてください。ただし、営利・宗教・政治的な活動等では、公民館を使用できない場合があります。

○登録方法

申請書は公民館にあります。必要事項を記入して、公民館に提出してください。



○提出期限

2月24日(土)締め切り

★曜日や時間帯によっては、若干余裕のある部屋があります。また令和6年4月1日から地区公民館事務室の開室日及び時間が変わります。詳しくはお問合せください。

小学生と昔の遊び 1月16日(火)



国安小学校1・2年生の児童の皆さんと国安地区老人クラブの方たちが、昔の遊びを通して交流をしました。めんこやコマ回し、あやとりやお手玉などで遊びました。



国安放課後子ども教室 冬のお話し会 ～光る絵のお話を楽しもう～ 1月17日(水)

地域読書クラブくにちゃんの方たちが、光る絵を使ってお話をしてくれたり、みんなで一緒に遊んだりしました。



国安公民館 にこにこブック

☺ ざんねんないきもの事典 どうしてそうなった 今泉 忠明

☺ あるかしら書店 ヨシタケシンスケ

☺ うみの100かいだてのいえ いわい としお

☺ からだのふしぎ にしもと おさむ

児童書の新刊です

大人も読んで面白い!

☺ がっこうのおばけずかん どうわがいっぱい

☺ 大ぴんちずかん 2 鈴木 のりたけ

☺ なぞなぞチャレンジ500問 みんなであそぼう 嵩瀬 ひろし

～毎月10日は人権を考える日～

第42回全国中学生人権作文コンテスト 愛媛県大会

【優秀賞】愛媛県教育委員会教育長賞

「一步踏み出すために」

西条市立西条北中学校 2年 大村和希羽

中学校に入学して一年半が経った。しんどいこともあるけれど、楽しい学校生活を送っている。友達もできて、部活にも一生懸命に取り組めるようになったからだ。

だが、学校生活の中で苦しくなることが全くないわけではない。休み時間などにたまに聞こえてくる会話に気分が落ちこんでしまうときもある。言っている人は深く考えずに言っているのかもしれないけれど、「学校に来ていないやつを見るといらつく。学校に来れなくなるとかメンタル弱すぎやろ。」私はこの言葉を聞いてどきどきして、体がこわばってしまった。怖くなったからだ。

私は小学校のとき、学校に行けなかった時期があった。四年生のときのことだ。五年生からは保健室登校、六年生のときもほとんど別室で過ごした。だから、私に向けられた言葉ではないと分かっているけど、そのときのことを思い出して怖くなってしまったのだ。私はみんなにとっていらつく存在だったのだろうか。確かにメンタルが弱いと言われればそうだったかもしれない。当時疲れきって家から出ることもできない状態だったからだ。でも、それまでのことを考えるとメンタルが弱いからという一言で片付けられるとすごく嫌な気持ちになる。学校に行かないと決めるまでにどれだけ悩んだか、どれだけ苦しんだか他人には分からないと思う。だから、「いらつく」「メンタルが弱い」という言葉は私の心を突き刺すくらい辛い物なのだ。それに、もし学校に来ていない本人がこの言葉を聞いたらどんな気持ちになるのだろうか、考えただけでぞっとしてしまう。私なら二度とそんな学校に行くもんかと思うだろう。こんなことを言うのは本当にやめてほしいと思う。

しかし、私は思うだけで、何も言えない。そして、そんな自分にいらいらして、たまに嫌になる。じゃあそんなこと言わないでと伝えればいいのにと思われるかも知れないけど、言うことはできない。それは、四年生のあのときに戻ってしまうかもしれないからだ。私が学校に行けなくなったのは、人に注意をしたことがきっかけだった。私の意見はあっさり否定された。そして、周りの人はその意見に同調して一緒になって私に言い返してくる人もいた。また、その意見に同調しているわけではないけど、何も言わず知らん顔をしている人もいた。もしかしたら、私の意見に賛成してくれている人もいたかもしれない。でも、それを見つけれなかった。そんな日々がしばらく続いた。そして、もともと友達のいないクラスだったというのもあり、私は一人になってしまった。一人で過ごす休み時間はすごく長かった。だから、私は休み時間が一番嫌だった。そして、一学期の終わりには私はクラスに入れなくなってしまっていた。

私は、どうしたらよかったのだろうか。黙っていたらよかったのだろうか。なんなら一緒になってふざけるくらいのほうがよかったのだろうか。私が心を広くもって、もう少しがまんできていればこんなことにはならなかったのだろうか。私にもう少しユーモアがあってもおもしろい話ができる人気者だったら、その人たちは話を聞いてくれたかもしれない。でも、現実の私はユーモアもない、人気もない、心も広くない。残念ながら話をしても受け入れてもらえそうにない。世の中には差別をなくす立場に立つ人と差別を残す立場に立つ人の二種類の人がいるという。今の私は、完全に差別を残す立場の人間である。そう考えると悔しくてたまらなくなる。できれば差別をなくす立場に立つ人になりたい。でも、傷つきたくもない。学校に通えなくなるようなことには、もう二度とやりたくない。二つの気持ちが天びんのように揺れ動いている。バランスがとれて、どちらも大切にできるようになりたい。

私がこの作文を書いたのは、自分のためである。正直言って、学校に来ていない子のことをなんとかしてあげたい、いつも考えているわけではない。悪口を言っている人のことを大切にしたいと思ってこれを書いたわけでもない。自分の気持ちの整理をしたかったからだ。そして、分かったことは、自分のことが一番大切で、誰からも嫌われたくない、臆病者だということだ。私は八方美人の典型であろう。

理想は、学校に来れない子のために何ができるか考えたり、悪口を言う子に「言わないでほしい」ときちんと言えたりできる人になることだ。しかし、理想にはまだ遠い。

私は、この作文を書きながら小学校のときのことを思い出して、何度も泣いた。でも、泣きながら少しずつ気持ちがほぐれていくように思った。まだまだ弱くて臆病な私だけど、一つだけこれから実行しようと思うことを決めた。それは、学校に来ていない子の机の中をきれいに整頓することだ。いつ来ても気持ちよく過ごせるように。

「松山地方務局ホームページ」より

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課

